


大東市北東部篇

ダイTON MAP #04




香には本芝毛織産品環境内



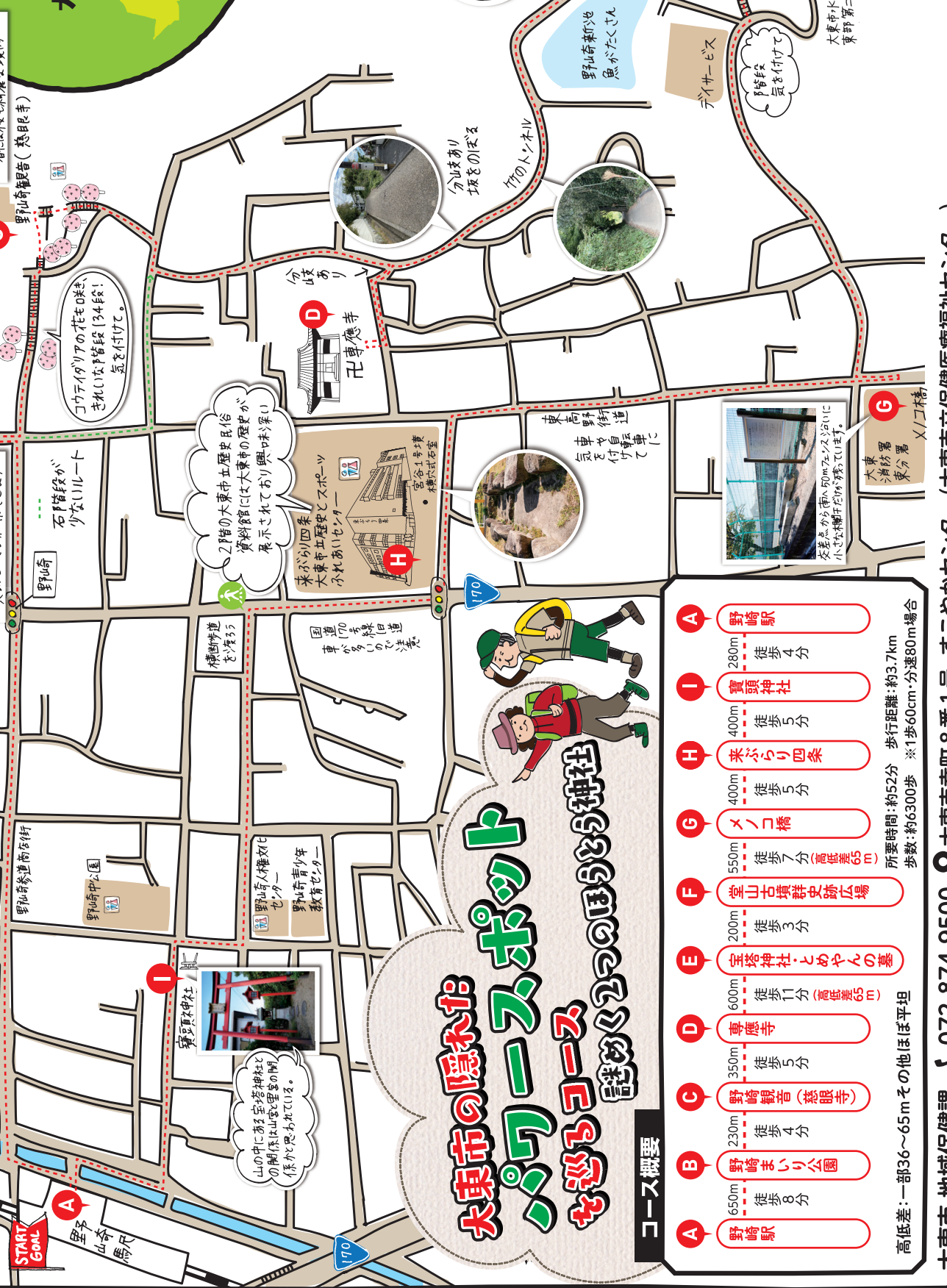
野崎まいり公園



石階段が少ないルート

借館としても利用できます

毎年5/1~5/8「のさきまいり」では露店がたくさん並ぶにぎわいがあります



野崎参道商店街

野崎中心公園

横田街道を境35

国道170号線 環状道

東高野街道
車や自転車を
気をつけて

分岐あり
坂道のぼろ

山道です

急な坂道を付けて！
夏は涼しい。

薄暗いので足元に注意！

宝珠山神社

野崎老人福祉センター
野崎青年教育センター

大東市立歴史民俗資料館には大東市の歴史が展示されており興味深い深い

来ぶらり四条
大東市立歴史民俗資料館
展示されている

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

野崎観音(慈眼寺)

野崎観音(慈眼寺)

野崎観音(慈眼寺)

野崎観音(慈眼寺)

野崎観音(慈眼寺)

野崎観音(慈眼寺)

野崎観音(慈眼寺)

野崎観音(慈眼寺)

野崎観音(慈眼寺)

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

宝珠山神社ととめやんの墓

大東市の隠れたパワースポットを巡るコース

謎めく2つのほろとら神社



コース概要	所要時間	歩行距離	歩数
A 野崎駅	約52分	約3.7km	約6300歩
B 野崎まいり公園	約5分	約0.3km	約600歩
C 野崎観音(慈眼寺)	約4分	約0.2km	約600歩
D 専應寺	約5分	約0.3km	約600歩
E 宝珠山神社ととめやんの墓	約11分	約0.6km	約1200歩
F 堂山古墳群史跡広場	約3分	約0.2km	約600歩
G メノコ橋	約7分	約0.55km	約1100歩
H 来ぶらり四条	約5分	約0.4km	約800歩
I 寶頭神社	約5分	約0.4km	約800歩
A 野崎駅	約4分	約0.28km	約560歩

大東市のパワースポットへ行こう！

B 野崎まいり公園

「野崎まいり」でおなじみの野崎観音のすぐそばに建つ、付近の景観に馴染んだ和風建築公園。朝9時～夕方17時まで開門。

出典：野崎参道商店街 HP



C 野崎観音（慈眼寺）

昭和初期の大ヒット曲『野崎小唄』で歌われる当寺は、野崎観音と親しまれる十一面観世音菩薩（平安中期）をご本尊とする、曹洞宗の禅寺。行基菩薩によって約1300年前の天平勝宝年間に開山され、古くから北河内をはじめとする大阪の人々の信仰を多く集めてきた。

出典：野崎観音 HP



D 専應寺

浄土真宗本願寺派の阿弥陀如来を本尊とする寺院。江戸時代中期の建築様式をもつ本堂・聖徳太子像を安置する太子堂・鐘楼・山門・庫裏（くり）がある。「聖徳太子立像」は2019年に指定文化財に指定された。

出典：専應寺由緒書き



E 宝塔神社・とめやんの墓

専應寺から登り坂をしばらく進むと谷あいには宝塔神社がある。その由緒は不明であるが、古くからある神社。御祭神は、市杵島姫命（いつくしまひめのみこと）。大物相場師たちが密かに参拝した相場の神様と言われている。その境内には、石碑がひっそりと立っており、これにまつわる「とめやん」と呼ばれた狸の不思議な民話が伝えられている。



民話「とめやん」

昔、この辺りに住んでいた、狸のとめやんは、毎日のようにいたずらをしていた。困った村人が捕まえると「みんなが“とめ公”と呼んでバカにする、“高吉大明神”と呼んで祀って欲しい」という。そこで村人たちは「高吉大明神」という石碑を建て、食べ物を供えてやった。すると、それからいたずらをしなくなったというお話。

出典：大東市文化財ガイドブックⅡ

F 堂山古墳群

堂山古墳群はその飯盛山地の西方の尾根に築造された、8基からなる古墳群。大阪府の生駒山地北側に連なる飯盛山系と河内湾に挟まれた扇状地には、南北に細長い平地ながら後期旧石器時代から人が住み始め、弥生時代には集落規模も拡大し、生産活動や祭祀が行われていたとされる。ここから眺める景色は絶景。

引用：大東市魅力発信サイト「エエトコ！だいとう」



H 来ぶらり四条

旧四条小学校の跡地を活用して設置された生涯学習の複合施設で、歴史民俗資料館のほか、図書館や体育施設を併設している。歴史民族資料館では、展示物の見学に加え、堂山古墳から出土した甲冑のレプリカの試着など、大東の歴史や文化遺産を五感で感じることができる。

引用：大東市 HP



G メノコ橋

宝塔神社から東高野街道に下り少し南へ行くと、メノコ橋の欄干が道端に残されている。その昔、村里で宿を断られた弘法大師が連日の様に寝ていたのがこの橋で、欄干を枕に寝ていたことから「メノコ橋」、次第に「メノコ橋」と呼ばれるようになったという民話が残っている。

引用：大東市 HP

